

渋川市生涯学習推進指導者養成講座修了生による

「地域課題対策チーム」活動の足跡

地域課題対策チームは、ひとつの公民館を拠点として、その地域が抱える課題に即した事業を企画し、各地区で生涯学習の視点から解決するための取組を実施してきました。

活動期間：平成26年2月～令和6年度

メンバー：当初は修了生13名中 8名（＋職員4名で活動）

平成6年度は修了生67名中18名（＋職員2名で活動）

①赤城公民館（平成26～27年度）

地域課題：公民館利用者の固定化と地域人材の発掘（特に団塊世代の男性）。

解決手段：団塊の世代の事業をするのではなく、子ども向けのイベントを助けてくれる団塊世代を募集。

開催事業：「食と遊びの教室」

子どもたちが竹でおもちやを作って遊んだり、食器を作って火をおこして飯盒炊爨等を体験できる教室。

②小野上公民館（平成27～28年度）

地域課題：人口減少で子どもたちがいろいろな人とかかわる機会が少ない。

住んでいても地域のことを知らない。

解決手段：おとなも子どもも参加できて、小野上の良さを知ることができるイベントを企画。

開催事業：「ふるさと再発見 in おのがみ みんなで歩く野仏めぐり」

小野上の良いところをみんなで歩いて見てまわる。

③北橘公民館（平成28～30年度）

地域課題：（館長の方針で協力を得られずチームで考えた）北橘といえば何、というイメージがない。

解決手段：市内の人に北橘のことを知ってもらうため、北橘の良さを知ることができるイベントを企画。

開催事業：「ふるさと再発見 in ほっきつ あるいてみよう！ふるさとのいま・むかし」

北橘の良いところをみんなで歩いて見てまわる。

④子持公民館（平成30～令和元年度）

地域課題：勤労世代や子育て世代の利用者が少ない。

解決手段：親子で参加できて、地域の良さを知ることができるイベントを企画。
開催事業：「ふるさと再発見 in こもち みんなでさ・ん・ぽ ぐるっと歴史めぐり」
子持の良いところをみんなで歩いて見てまわる。

⑤伊香保公民館（令和元～2年度）

地域課題：観光地としてだけでなく、地域としての良いところを知ってほしい。
解決手段：石段街を中心にしながら、観光スポット以外の良さも知ることができるイベントを企画。
開催事業：「ふるさと再発見 in いかほ ここにもあった！伊香保の宝」
伊香保の良いところをみんなで歩いて見てまわる。
（2年度コロナのため延期）

⑥コロナ禍中（令和2～5年度）

課題：新型コロナウイルス感染症の影響で、広く市民に参加を呼び掛ける事業ができない。
対策：コロナ後を見越して、地域のネタ集めや自主研修をしながら気持ちを共生社会についても考えながらつなげる。
開催事業：地域課題対策チームメンバー限定
（令和2年度）「駅前ふらっと彫刻散策」
会議室を飛び出し、渋川駅から美術館まで、マロニエ通りを中心に散策。
（令和3年度）「ふるさと再発見 in 赤城（下見）」
（令和4年度）「ふるさと再発見 in 赤城 Part II（下見）」
（令和5年度）「ふるさと再発見 in 赤城」
ふるさと再発見 in あかぎ～行ってみようみんなでめぐる歴史と文化のまち～」
赤城地区の良いところを再発見するための現地調査。

⑤伊香保公民館（令和5～6年度）

地域課題：令和2年度にコロナのため延期された企画を6年度に開催する。
解決手段：石段街を中心にしながら、観光スポット以外の良さも知ることができるイベントを企画。
開催事業：「ふるさと再発見 in いかほ ここにもあった！伊香保の宝」
伊香保の良いところをみんなで歩いて見てまわる。

令和7年度からは、「生涯学習推進指導者～学びを楽しく～ふるさと再発見隊」に名前を変更して活動しています。